子どもNPOセンター Information Clip

インフォーメーション・クリップ

ふくいチャイルドライン

フリーダイヤル支援キャンペーン

春うららんキャンペーン

■とき：3月21日(祝) 10時〜16時　■ところ：ショッピングシティ・ベル 北コート

共催：富士通株式会社

子ども縁日
あそびにきてね！

どデカ ジェンガ
の迫力に、あなたは
耐えられるか!?

「スマートボール」
「射的」
「巨大ジェンガ」など

はぴりゅうもくるよ！
募金にご協力お願いします。

ふくいチャイルドライン

FUKUI CHILD LINE

18才までの子ども専用電話

月曜日〜土曜日 16:00〜21:00

☎0120-99-7777

認定NPO法人 福井県子どもNPOセンターにご支援ください。

子どもNPOセンターは、国際条約でもある「子どもの権利条約」に沿って子どもの最善の利益を考えて日々の活動をつないでいます。

A. 賛助会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動を支援する会員。	●個人 ●団体（法人）	一口年額／ 5,000円 一口年額／10,000円
B. ボランタリー会員 子どもNPOセンターの目的に賛同し、活動にボランティアとして協力・参加する個人。	●個人	一口年額／ 1,000円
C.一般寄付も受け付けています。		

入会方法

郵便振替の通信欄に、
❶住所 ❷氏名 ❸電話番号
❹会員の種類（左記ABCいづれか）
❺口数 を記入してお振込みください。

郵便振替

00770-1-45546
福井県子どもNPOセンター

◎税制上の優遇措置について

「認定特定非営利活動法人」へのご寄附や、正会員以外の年会費等は、下記のような税制上の優遇措置（寄附金控除）が受けられます。ぜひご利用ください。

❶個人のご寄附

【所得税】（寄附金の合計額 －2,000円）×40％が税額控除されます。［上限：所得税額の25％］

【住民税】自治体によって異なります。お住まいの自治体にお問い合わせください。

【相続税】相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に寄附した場合、寄附をした財産には相続税が課税されません。

❷法人のご寄附〈法人税〉

認定特定非営利活動法人への寄附金の特別損金算入限度額が改正されました。(2012/4/1)

{(資本金×(当期の月数÷12)×0.375%)＋(所得の金額×6.25%)}

※詳細については、最寄りの税務署にお問い合わせ下さい。また、国税庁のウェブサイト（国税庁＞申告・納税手続＞認定NPO法人制度）でも手続きの詳細が掲載されています。

団体正会員

鯖江子ども劇場	〒916-0024 鯖江市長泉寺町1-9-20 鯖江市民活動交流センター内
小浜子ども劇場	〒917-0231 小浜市国分50-9 TEL.0770-56-2867
勝山子ども劇場	〒911-0811 勝山市片瀬町1-402 勝山市民活動センター内 TEL.0779-87-1011　FAX.0779-87-1022
NPO法人 福井芸術・文化フォーラム	〒910-0019 福井市春山2-7-1（福井市文化会館内） TEL.0776-23-6905　FAX.0776-23-7905

福井県子どもNPOセンターを支援しています。

- 有限会社アドヴァンス近信
- 池田歯科医院
- 大月産婦人科クリニック
- 春日装備株式会社
- 上屋敷工業株式会社
- 学校法人 福井仁愛学園
- カフェリビングsu_mu
- 造家屋
- つちだ小児科
- ネッツトヨタ福井株式会社
- 光タクシー有限会社
- 福井県映画センター
- まきレディースクリニック
- 三井皮膚科医院
- やしろ歯科クリニック
- 山内整形外科
- 六感デザイン

Salt & Pepper ソルト＆ペッパー

受験生の母初体験のこの冬。「まだ勉強やらんの？」「え、もう寝るん？」口から出そうになるのを飲みこんで、ひたすら忍耐。これが一番と過去の度重なる娘とのバトルから学んだ今日この頃。人生初の試練。子どもにとっても、そして親にとってもかな。親は何にもしてやれないけど、子は少しずつ自分の足で歩いていくんだね。（まろんのママ）

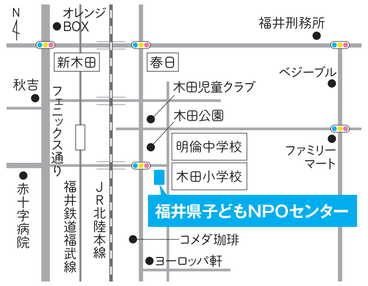
HPをリニューアルしました。かわいいから見てね。

記事、情報に関するお問い合わせは福井県子どもNPOセンターまで

認定NPO法人
福井県子どもNPOセンター

〒918-8106 福井市木田町36-1 コーポ木田201号
TEL.0776-97-8460　FAX.0776-97-8461
E-mail childnpo@muse.ocn.ne.jp
URL http://childnpo.com　始めました

企画・編集／福井県子どもNPOセンター　デザイン／六感デザイン



こどもChannel 2018 61号

2018年3月3日発行（年3回発行）　通巻第61号

Take Free【無料】

こども Channel

チャンネル

みる　きく
あそぶ　かんがえる

2018 61号

発行：認定NPO法人 福井県子どもNPOセンター　URL：http://childnpo.com

「今」を生きる子どもたちと、かつて子どもだった大人たちをつなぐ情報誌。

特集 子どものチ・カ・ラ13

うめだ演劇工房
演劇キッズ 2017

お芝居「クレヨン」

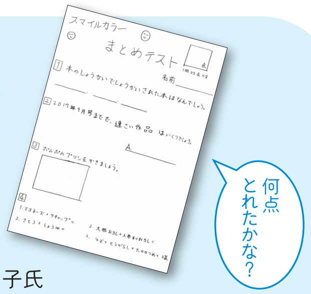
こどもChannel

子どもゆめ基金
助成活動

子どもに学ぼう

あべこべ学校

子どもが先生？
大人が生徒？


スマイルカラー
まとめテスト
名前
何点とれたかな？

■授業：11月12日(日) 9時～15時　■会場：福井県社会福祉センター　■子ども先生(小学生)：25名
■大人生徒：28名　■メインファシリテーター：島田妙子氏　■ファシリテーター：小柏博英氏、高木未貴氏、岡田伊佐央氏、谷内由美子氏

「子どもの力って…すごい」

「私たちの力を信じてください!」とグループの女の子に言われて、その後ただただ見守っていたファシリテーターの私。若干の不安はあったものの、いざ、本番。予想していた不安が的中…しかし！彼等は見事に乗りきった。何事もなかったかのように、やってのけたのだ。子どもたちに駆け寄り、喜びをわかちあった。涙が出そうになった。それを見ていた周りの大人たちは泣いていた。それを見て、また泣けた。子どもたちの無限の力を信じないわけにはいかない…。そして、このような貴重な体験をさせてくれた子どもたち、スタッフの皆様に感謝せずにはいられない…。(岡田伊佐央)

子ども先生から大人生徒へ!

温かい目でみてくださってありがとうございました。たまにはひといきついて、子どものことを思い出して下さい。いろいろと学ぶことはありましたか？今日のことをわすれずにおぼえておいてください!!

生徒してくれてありがとう。わらってくれてありがとう。楽しかったです。

やってほしいことをやってくれたけど、いみが分からないこともいっていたので分かるように話してほしかった。あと手を挙げてほしかった。

きょうはありがとうございます。あたまをいっぱいつかうじゅぎょうたのしかったですか。たのしかったらよかったです。

大人生徒から子ども先生へエール!

先生 おつかれさまでした。楽しかったです!!知らない学校の子たちと短い時間で考えて私たち大人にたくさんのことを教えてくれてありがとう!!です。

子どもたちの可能性は無限です。その力を引き出してあげられるように全力サポートしていきたいです。こわがらず前に進んでほしいです。

いつもしてもらうことが多いと思いますが自分がしてあげられる側、させてもらえる側になると見えてくることや気づくことがたくさんあると思います。見方を変えられるということはとても大切なことです、今回の経験をぜひいろいろな面に活かしてほしいです。

どの先生もキラキラしてて素敵でした。自信を持って活動する姿、かっこよかったです!

ポムポムプリンをかこう

チャンバラゲーム

動物の名前がつく県は？

大人に言われていやな言葉・いい言葉

もぐもぐカレーをたべよう

おのこしはゆるしませんよ

うめだ演劇工房

子どもゆめ基金助成活動

演劇キッズ 2017

■発表：12月23日(土) お芝居「クレヨン」　■会場：響のホール　■観客：74人　■練習：6月～12月(全17回)
■講師：梅田美千代氏・鴜田静佳氏

「ひとりひとりがクレヨンのよう」

今年の演劇キッズはひとりひとりが劇の登場人物のように魅力にあふれ、稽古場は「クレヨン」のシーンさながら楽しく賑やかでした。全員が揃わない稽古日もありましたが、みんなでがんばって発表に向かいました。いろんな事を一緒に乗り越えた仲間とひとつの劇を作り上げた達成感が、それぞれの成長の糧になる事を願っています。(梅田美千代)

発表を終えて

本番前はすごくドキドキだったけど、めーっちゃ、楽しかったです!!はじめの「はい」を言ってから緊張がとけました。演劇キッズに参加して良かったと思います。参加して何か得たことがあると思うので、それを今後生かしていきたいです。

今日は初めての演劇の発表できんちょうしましたがはきはきと笑顔でいえてうれしくおわったのでたのしいしとってもうれしかったです。またやりたいです。

今日は本番で少しきんちょうしました。でもとっても楽しくできました。練習の時にはセリフがはやくなったり、動きが小さくなってしまったことがあったけど、本番でしっかりとできたし、楽しくできたので良かったでーす。また演劇キッズに入りたいです。

保護者アンケートより

一つ一つの事に責任を持って取り組めるようになったと思います。人前に出るのが得意ではないのですが少しずつ前に出ることが出来るようになったと思います。

いつも練習を楽しみにしているのがよく伝わりました。当日必要なものや練習の場所など、すべて自分で把握し、私が尋ねるときちんと答えていました。いつのまにこんなにしっかりしたんだろう！という感じです。セリフも自力で全て楽しんで覚えたようです。

セリフを覚えたり、練習でどんなことをしたのか、どんな役を演じるのか、楽しそうに話してくれました。学校の外でも仲の良い友達ができて喜んでいます。

大人が学びあう講座

困難を抱えた子どもへの理解と支援

～コミュニケーションを取りにくい子どもといい関係を作る～

福井大学子どものこころの発達研究センター　小坂浩隆 氏

■と　き：2月17日(土) 10時～12時　■会場：福井県立大学 多目的ホール　■参加者：64名

今年度の大人の講座全3回が終了し、虐待と発達障害について学びました。第3回は未曽有の大雪の直後に予定されていたため延期もやむなしと一時は断念しかけましたが、大雪の後も申し込みが絶えず、多くの方の熱意を感じて開催の運びとなりました。そうして迎えた小坂先生の講演会では障害が疑われる子どもの感じ方を平易な言葉で丁寧に説明して頂き、専門家ではない人にもとてもわかりやすい、また先生のお話が聞きたいという声が多数ありました。参加者にはスクールカウンセラーや学童保育など普段から子どもに関わっている方が多く、現場で対応に苦慮している様子がうかがえました。

参加者アンケート

発達障害の子どもへの支援は「本人を変えるのではなく周囲の接し方を本人に合わせる。「治す」ではなくて「普通」に近づけるものでもない。その人に寄り添っていきたいと思います。周囲の人々の態度の変化が最大の支援です。

「あんな行動をする子がいるなあ～」と思いながら聞きました。その子たちの対応も周りの人の言葉かけやちょっとした対応でみんなと同じ集団生活をおくることが出来るので仕事に役立てたいです。

環境を整えてあげることが大切と努力したいと思います。くりかえしダメなことをする子に社会でいきづらくならないよう心がけていきたいです。

■講演会

日時	講師	会場
11月18日(土) 13時半～16時	芝 康弘氏 (福井県総合福祉相談所 こども・女性支援課 課長)	福井市社会福祉協議会 ボランティアルーム (フェニックスプラザ4F)
平成30年 1月20日(土) 14時～16時	森本 武志氏 (子どものこころの発達研究センター 児童青年期こころの専門医育成部門 准教授)	

グリーンボランティア助成事業

雪あるかな？遠足

■と　き：1月27日(土) 9時～14時
■ところ：ふくい健康の森
■講　師：森林インストラクター 大石橋節子氏
■参加者：19名

福井県子どもNPOセンターで大切にしているあそびのひとつ、森の中での活動です。今年はしっかり積もった雪が子どもたちを迎えてくれました。スノーシューを履いて積もった雪を歩くとなんの動物かな？森の中に向かって足跡が･･･想像が膨らみます。そして、がんばって登った展望台から眺める景色は格別でした。みんなの「ヤッホー!!」と元気な声が健康の森に響きました。

木田児童クラブサポート事業

表現あそびごっこランド

木田児童クラブで月1回行っている表現あそび、今年は「大型立体カレンダー作り」からスタートしています。それぞれが、その月のイメージを頭にうかべ仲間と話し合いそれを身体で表現していきます。雛飾りのぼんぼりになったり、節分の豆になったり、想像力や発想が面白くて毎回笑いがたくさんのごっこランドです。(鴜田静佳)

上映会

みんなの学校

■と　き：12月6日(水)
①10時～ ②18時30分～
■会　場：ユーアイふくい 映像ホール
■参加者：①76名 ②64名

福井市児童クラブ連絡協議会の指導員研修にドキュメンタリー映画「みんなの学校」を紹介しました。学校と地域、大人と児童が尊重し合いともに生きていく姿に、参加者は新しい発見をし勇気をもらった様子でした。全ての子ども達を受け入れる社会を目指して私達がやることは何だろう･･･。とても手応えを感じた上映会でした。